

## 大城千代子保護司会会長あいさつ



本日は第71回”社会を明るくする運動”作文コンテスト沖縄県表彰伝達式に 那覇保護観察所の岡田所長を迎え、関係者の皆様と共に伝達式を挙行できますことを嬉しく思います。

この度、沖縄県における作文コンテストで小学校の部、優秀賞東小学校6年生、砂川柊斗くんの「僕にできること」、同じく中学校の部で最優秀賞に鏡原中学校3生友利美月さんの「理解の重要性」のテーマで書いた作文が、沖縄県の審査委員の先生方より、高い評価を受け入賞いたしました。

優秀賞の砂川柊斗くんは弟さんとの喧嘩を通して、相手の気持ちを分かることの大切さを学んだことを、小学6年生の視点でしっかり考えをまとめています。

最優秀賞に輝いた友利美月さんは発達障害のある弟さんとの日常の関わりから、相手の気持ちを理解する事の重要性についてまとめています。

この二人の作文に共通していることは、人と人とのコミュニケーションの取り方、はかり方の基本を、私達大人に対しても多くの示唆を与えており、大変感動いたしました。

今回はコロナ禍の状況が続く中でも拘わらず、たくさんの作文の応募がありました。その中から優秀賞・最優秀賞が当宮古保護区から選ばれたことは誠に誇らしく、荣誉あることと関係者一同喜んでいきます。

先生方も登校日数の少ない中で、作文コンテストについて説明したり、応募を促すなど働きかけて下さり、感謝申し上げます。

“社会を明るくする運動”作文コンテストは今後も毎年行われますが、これからもどのようなことが社会を明るくすることだろうかと考え、そのための行動を続けて下さるようお願いいたします。

私達大人も懸命に考え、行動していくことを約束したいと思います。

本日は本当におめでとうございます。